

2023 年 11 月 9 日

通貨ニュース

OECD 景気先行指数：ユーロ圏が世界的な景気回復に遅れをとる可能性を示唆

11 月 8 日、OECD(経済協力開発機構)は 10 月分の CLI(景気先行指数、Composite leading indicator)を公表した。景気循環の転換点の兆候を早期に捉えるための指標であり、先行期間は 6～9 か月とされている。また、サンプルから外れ値を除去したのちに、それらを標準化することで算出される長期平均(≒中立水準)を 100 としている。すなわち、100 以上は景気拡大、100 以下は景気縮小局面を意味する。OECD によれば、G20 の CLI は+0.10%上昇した(図表 1、2)。12 か月連続の上昇であり、4 か月連続での長期平均超えだ。また、G7 (+0.06%)も 11 か月連続で上昇。以下、地域別に確認する。

アメリカ大陸は、まちまちな結果だった(図表 1、3)。メキシコ(+0.07%)は 12 か月連続で、米国(+0.05%)は 8 か月連続でそれぞれ上昇した。一方で、ブラジル(▲0.03%)、カナダ(▲0.01%)はそれぞれ前月に続き低下した。

欧州圏は、英国とその他で対照的な結果となった(図表 1、2、4)。欧州主要 4 か国の CLI は、+0.03%と 12 か月連続で上昇した。個別国では、英国(+0.22%)は 13 か月連続で上昇した。他方で、フランス(▲0.06%)は 24 か月連続で、スペイン(▲0.04%)は前月に続きそれぞれ低下した。

アジア・オセアニアは、中国の力強さが目に付く(図表 1、5)。中国(+0.31%)は 14 か月連続で、韓国(+0.11%)は 8 か月連続でそれぞれ上昇した。また、インド(+0.08%)は 8 か月連続で上昇した。一方、インドネシア(▲0.09%)は 3 か月連続で、オーストラリア(▲0.02%)は 29 か月連続でそれぞれ低下した。

中東・アフリカは弱めな結果となった(図表 1、6)。トルコ(▲0.33%)は 6 か月連続で、南アフリカ(▲0.08%)は 19 か月連続でそれぞれ低下した。

G20 の CLI は、上述の通り 12 か月連続で上昇を見せており、どこまで上昇基調を継続できるかに注目が集まる。むしろ、今後はいつ景気の「山」を迎えるかにも注意を払う必要がある。具体的に確認すれば、7 月に約 1 年半ぶりの長期平均超えを記録した後も、3 か月連続で水準を切り上げている。CLI の推移を確認する限りにおいては、世界経済は 2023 年 10～12 月期から 2024 年 1～3 月期にかけて底を打った後で、緩やかな回復局面に回帰する、といった流れが想定される。そのほか、国・地域別に確認すると、前月に続いてユーロ圏諸国の軟調さが悪目立ちしている。欧州主要 4 か国の CLI は、英国が含まれている関係で上昇したものの、ユーロ圏といった枠組みで指数を確認すれば、ドイツ・フランス・イタリア・スペインのすべてにおいて 9 月から低下が確認されている。ECB は、累次の利上げに伴う需要抑制効果は 2024 年に入っても機能するとの姿勢を示しており、CLI の推移は ECB のスタンスとも整合的と考えられる。上値が重い印象が強い足許のユーロ相場は、こういった域内景気の減速感に依るところも相応に大きく、その流れは少なくとも年内は継続する可能性が高いのではない。

金融市場部
長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: OECD 景気先行指数の推移

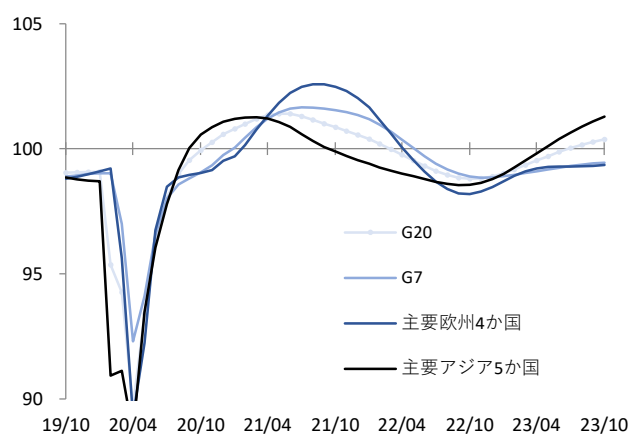
OECD景気先行指数									(長期平均=100)
	23年03月	23年04月	23年05月	23年06月	23年07月	23年08月	23年09月	23年10月	前月比(%)
G20	99.3	99.5	99.7	99.9	100.0	100.2	100.3	100.4	0.10
G7	99.0	99.1	99.2	99.2	99.3	99.4	99.4	99.4	0.03
主要欧州4か国	99.1	99.2	99.3	99.3	99.3	99.3	99.3	99.3	0.03
主要アジア5か国	99.5	99.8	100.1	100.4	100.6	100.9	101.1	101.3	0.18
米国	98.8	98.9	99.0	99.1	99.2	99.3	99.4	99.5	0.05
カナダ	97.8	97.8	97.8	97.7	97.8	97.8	97.8	97.8	▲ 0.01
ブラジル	99.6	99.7	99.8	99.9	100.0	100.1	100.1	100.0	▲ 0.03
メキシコ	100.5	100.6	100.7	100.7	100.8	100.9	100.9	101.0	0.07
ドイツ	99.7	99.7	99.5	99.4	99.2	99.0	99.0	98.9	▲ 0.02
フランス	98.7	98.7	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.5	▲ 0.06
イタリア	98.7	98.9	99.0	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	▲ 0.02
スペイン	99.3	99.4	99.6	99.7	99.8	99.8	99.8	99.8	▲ 0.04
英国	98.8	99.2	99.6	99.9	100.1	100.4	100.6	100.8	0.22
日本	100.0	100.1	100.1	100.2	100.2	100.2	100.2	100.2	▲ 0.01
オーストラリア	99.1	99.0	98.9	98.8	98.8	98.7	98.7	98.7	▲ 0.02
中国	99.6	100.1	100.5	101.0	101.4	101.8	102.1	102.4	0.30
韓国	98.5	98.7	98.8	99.0	99.2	99.3	99.5	99.6	0.11
インド	99.6	99.6	99.6	99.7	99.7	99.8	99.9	100.0	0.08
インドネシア	98.2	98.3	98.5	98.6	98.6	98.6	98.5	98.4	▲ 0.09
南アフリカ	100.2	99.9	99.7	99.5	99.4	99.3	99.2	99.1	▲ 0.08
トルコ	100.4	100.5	100.5	100.4	100.1	99.8	99.5	99.2	▲ 0.33

資料: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

※それぞれ四捨五入で記載している

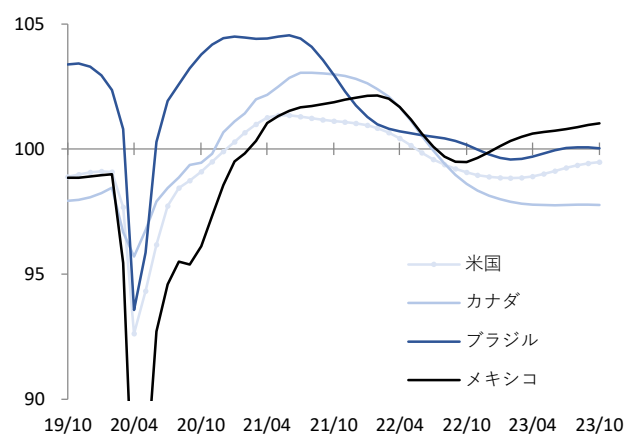
※主要欧州 4 か国はフランス、ドイツ、イタリア、英国

※主要アジア 5 か国は中国、インド、インドネシア、日本、韓国

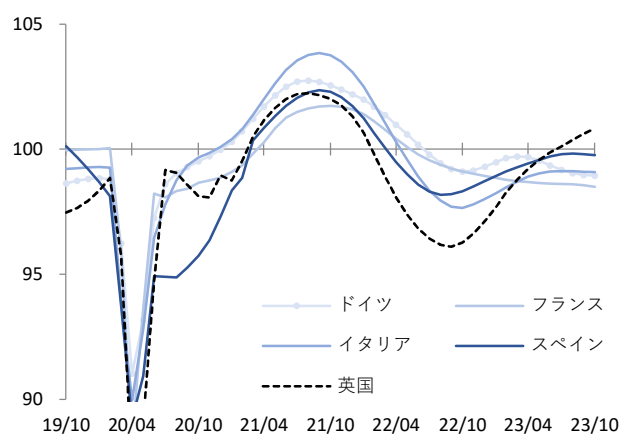
図表 2: G20、G7、主要欧州 4 か国、主要アジア 5 か国


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

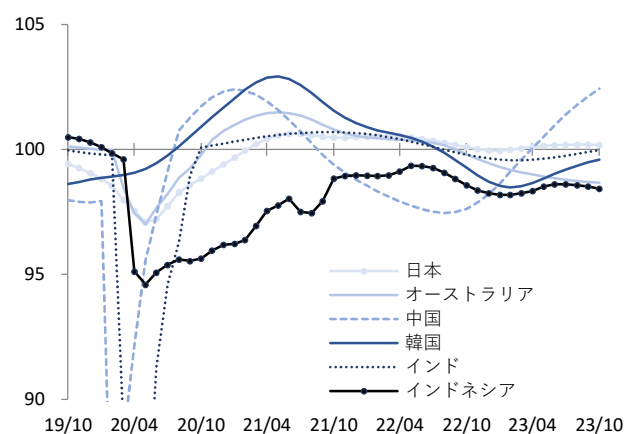
※コロナ期の下限は意図的にカットしている。以下図も同様。

図表 3: アメリカ大陸


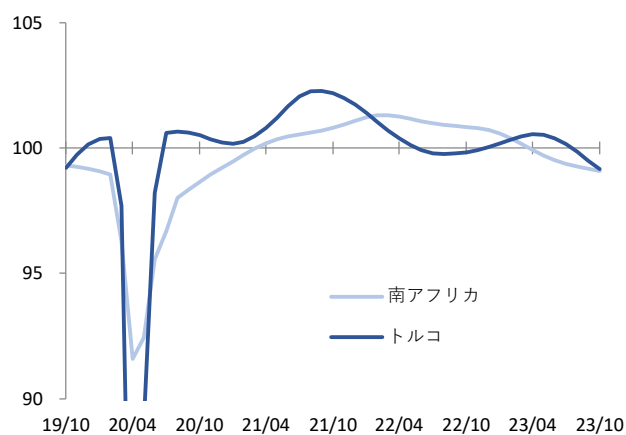
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 欧州圏


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: アジア・オセアニア


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 中東・アフリカ


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。